

県政協議会

令和四年五月二十日（金）

午前十時三十分

- 一、令和四年度六月補正予算（案）の概要について
- 二、新型コロナウイルス感染症対策について
- 三、その他

令和4年度6月補正予算（案）の概要について

令和4年5月20日

(単位：千円)

一 予算規模

一般会計

補正額 11,583,763

補正後の規模 625,637,465

前年度6月補正後予算との対比 20,290,321
(3.4%増)

《補正予算の財源》

特定財源 9,633,605

国庫支出金 6,084,755

繰入金 1,326

県債 3,505,300

その他 42,224

一般財源 1,950,158

繰越金 1,950,158

二 補正予算(案)の主な内容

今回の補正予算(案)は、新型コロナウイルス感染症への対応に要する経費のほか、新秋田元気創造プランに基づく事業、公共事業等について計上した。

I 新型コロナウイルス感染症への対応

- (1) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者給付金事業 2,162,509
オミクロン株による感染の拡大に伴う自宅療養者の増加を踏まえ、給付金の支給に要する経費を増額する。
・支給対象 県内に居住実態があり、保健所において自宅療養が認められた者
・支給額 1人当たり3万円
- (2) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業 294,000
新型コロナウイルス感染症の自宅療養者が療養期間中に受けた治療等に係る医療費のうち、自己負担分の負担に要する経費を増額する。
- (3) 新型コロナウイルス感染症保健所体制整備事業 161,804
①保健所の事務処理に従事する会計年度任用職員の配置に要する経費 47,452 千円
逼迫する保健所業務に対応するため、各保健所に一般事務補助に従事する会計年度任用職員を増員する。
・増員人数 各保健所2名(増員前 各保健所2名(保健師2名))
②保健所応援派遣事業 55,792 千円
各市町村から派遣された職員(保健師)に係る時間外勤務手当及び交通費を負担する。
・派遣職員数 24名(各保健所3名×8保健所)
③通信費 58,560 千円
感染者数の増加に伴い、健康観察等に必要な通信費を増額する。
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策協議会運営費等 7,827
新型コロナウイルス感染症に関する業務を一元的に行うために新たに立ち上げた「秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部保健医療対策部」に一般事務補助に従事する会計年度任用職員を配置する。
・配置人数 5名
- (5) 各施設における新型コロナウイルス感染症検査体制の強化
新型コロナウイルス感染症の発生予防と拡大防止を図るため、抗原検査キットを購入・配付する。
①高齢者施設における新型コロナウイルス感染症抗原検査事業 60,800 千円
・配付先 感染者が発生した高齢者施設
・配付数 60,000テスト分

②新型コロナウイルス感染症拡大防止集中対策事業	300,000 千円	
・配付先 保健所、診療・検査医療機関		
・配付数 300,000 テスト分		
③保育所等新型コロナウイルス抗原検査体制整備事業	137,885 千円	
・配付先 保育所、幼稚園、認定こども園等		
・配付数 115,000 テスト分		
④新小・中学校等新型コロナウイルス感染症対策関連事業	27,398 千円	
・配付先 小学校、中学校、義務教育学校		
・配付数 22,850 テスト分		
⑤学校における感染症対策事業	56,353 千円	
・配付先 i) 県立中学校・高等学校、特別支援学校		
ii) 私立・市立高等学校		
・配付数 47,000 テスト分		
(6) 国民体育大会参加選手等感染検査支援事業		7,920
国民体育大会に参加する選手等の感染症対策のため、大会出場前のPCR検査を行う。		
(7) 休業観光施設維持管理等事業		45,636
新型コロナウイルス感染症の影響により営業を休止する県営秋の宮山荘の維持管理等を行うとともに、次期指定管理者による円滑な営業の再開に向けた誘客促進等を行う。		

II 新秋田元気創造プランに基づく事業

(1) 新秋田牛輸出促進コンソーシアム推進対策事業		9,281
輸出拡大による生産者の収益性向上等を図るため、台湾における秋田牛のプロモーション活動等の取組を支援する。		
・事業内容 スーパー等での販売促進キャンペーン、現地商談会、バイヤー等の産地招聘、産地紹介動画の制作		
・補助率 定額(国10/10)		
(2) 林業成長産業化総合対策事業		233,595
①持続的林業確立対策事業	211,175 千円	
森林資源の循環利用を図るため、間伐や再造林のほか高性能林業機械等の導入を支援する。		
i) 間伐材生産・再造林促進事業		
・補助先 林業経営体7者		
・補助対象 搬出間伐、再造林、森林作業道開設		
・補助率 定額(国10/10)		

- ii) 高性能林業機械等整備事業
- ・補助先 林業経営体 12 者
 - ・補助対象 高性能林業機械等の購入及びリース
 - ・補助率 1/3 (国 10/10)
- ②木材産業等競争力強化対策事業 22,420 千円
- 木材製品を安定的・効率的に生産できる体制を構築するため、木材加工流通施設の整備を支援する。
- ・補助先 木材加工企業 1 者
 - ・補助対象 木材乾燥機の整備等
 - ・補助率 1/2 (国 10/10)
- (3) 妊娠・出産への健康づくり支援事業 14,000
- 不妊治療に取り組みやすい環境を整備するため、保険適用外の治療に要する費用の一部を助成する。
- ①保険適用と併せて行われる保険適用外の先進医療に係る費用
- ・対象年齢 43 歳未満 (男性は年齢制限なし)
 - ・助成回数 1 年に 1 回まで
 - ・助成上限額 10 万円 (県 10/10)
- ②全額自己負担となる保険対象外の治療に係る費用
- ・対象年齢 43 歳未満 (男性は年齢制限なし)
 - ・助成回数 1 年に 1 回まで
 - ・助成上限額 30 万円 (県 10/10)
- (4) デジタルガバメント総合推進事業 29,775
- ①新庁内業務可視化によるDX推進事業 20,773 千円
- 行政事務の効率化を図るため、業務量調査を実施し、他自治体と業務フロー等を比較・分析することにより、システムの機能改善や連携強化など業務のデジタル化を推進する。
- ②マイナンバーカード普及事業 9,002 千円
- マイナンバーカードの更なる普及を図るため、テレビCMやSNS等の媒体を活用した広報を集中的に実施する。
- (5) 軽費老人ホーム介護職員の処遇改善 3,004
- 軽費老人ホームに勤務する介護職員の処遇改善を図るため、賃上げに要する費用を支援する。
- ・実施期間 令和4年4月以降
 - ・補助額 介護職員 (常勤換算) 1 人当たり月 9 千円相当
- (6) 障害児・者施設整備補助事業 809,370
- 社会福祉法人が行う障害福祉サービス事業所の施設整備に対し助成する。
- ・補助率 3/4 (国 2/3、県 1/3)
 - ・補助件数 6 件 (新規 5 件、増額 1 件)

- (7) 新複合化相談施設整備事業 207,500
 資材価格の上昇や軟弱地盤への対応などに伴い、建築工事費を増額する。
 ・総事業費 約18.9億円(変更前 約16.8億円) (建築工事分)
 ・全体事業費 約26.1億円(変更前 約24.0億円) (建築工事以外含む)
 ・継続費設定 令和3～4年度
 ・供用開始 令和5年4月(予定)
- (8) 多文化共生推進事業 43,607
 ①外国人支援ネットワーク構築事業 5,791千円
 ウクライナ避難民への支援のため、「秋田県外国人相談センター」にウクライナ語での相談に対応できる環境を整備する。
 ②新ウクライナ避難民受入支援事業 37,816千円
 ウクライナ避難民に対し、当面安定した生活ができるよう生活費等を支援する。
 ・事業内容 生活費、生活一時金、光熱費、日本語教育費、医療費の支給
- (9) 秋田県立大学施設設備等整備事業 130,129
 令和4年1月に発生した火災により焼失した、秋田県立大学アグリノベーション教育研究センター牛舎の再整備に要する経費に対し助成する。
 ・補助対象 新牛舎建設工事

Ⅲ 公共事業

- (1) 国庫補助事業 5,872,781
 ・道路橋りょう 5,259,543 (16,707,698 → 21,967,241)
 ・砂 防 89,200 (1,926,200 → 2,015,400)
 ・林 野 12,398 (6,376,859 → 6,389,257)
 ・その他 511,640 (3,927,811 → 4,439,451)
- (2) 県単独事業 44,000
 ・港湾 44,000 (396,500 → 440,500)
- (3) 国直轄事業負担金 789,167
 ・土木 789,167 (13,216,844 → 14,006,011)

Ⅳ その他

- (1) 参議院議員選挙費 4,188
 「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律」等の改正に伴い、参議院議員通常選挙に要する費用を増額する。

<債務負担行為>

○指定管理者制度導入施設の管理運営事業 (499,815)

令和5年度以降の管理に係る協定を締結する施設について設定する。

施設名	契約締結期間	債務負担行為額(千円)
児童会館	令和5～9年度	309,297
勤労身体障害者スポーツセンター	令和5～7年度	33,705
青少年交流センター	令和5～7年度	156,813

○県単港湾整備事業 (46,000)

船川港を洋上風力発電の風車建設における補完港として活用するため、港湾計画改訂に向けた調査等を実施する。

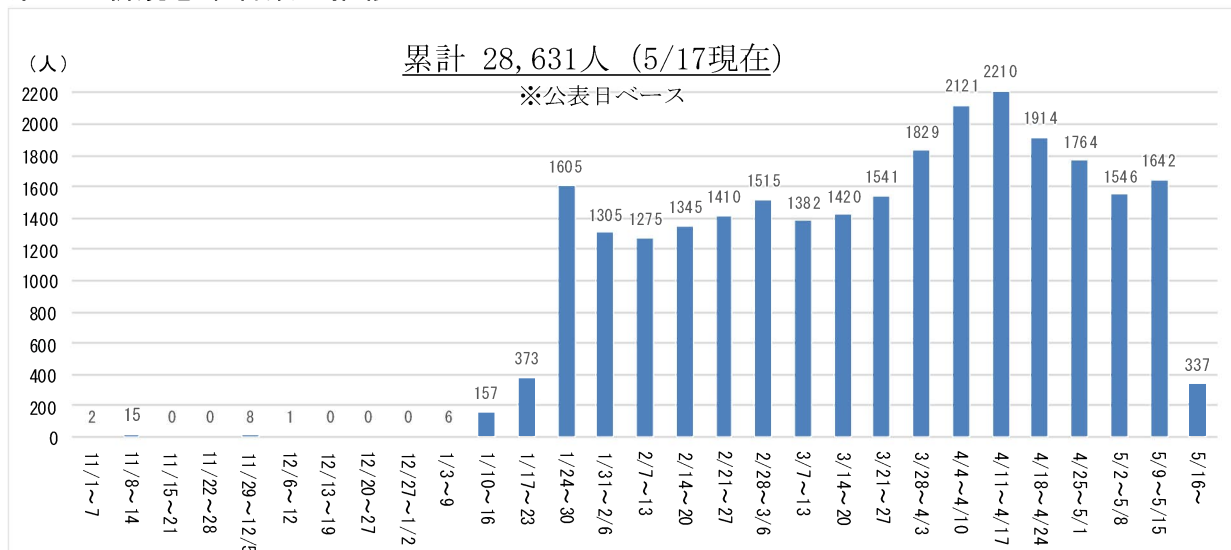
- ・事業内容 長期構想策定、港湾計画調査、環境影響調査
- ・設定期間 令和5年度

新型コロナウイルス感染症対策について

令和 4 年 5 月 2 0 日
秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

I 感染状況等

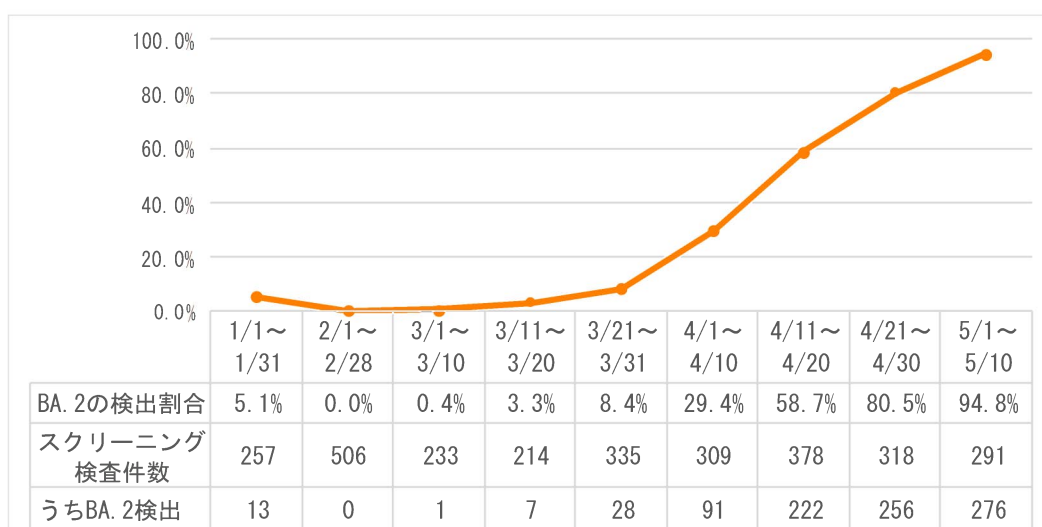
1 県内の新規感染者数の推移



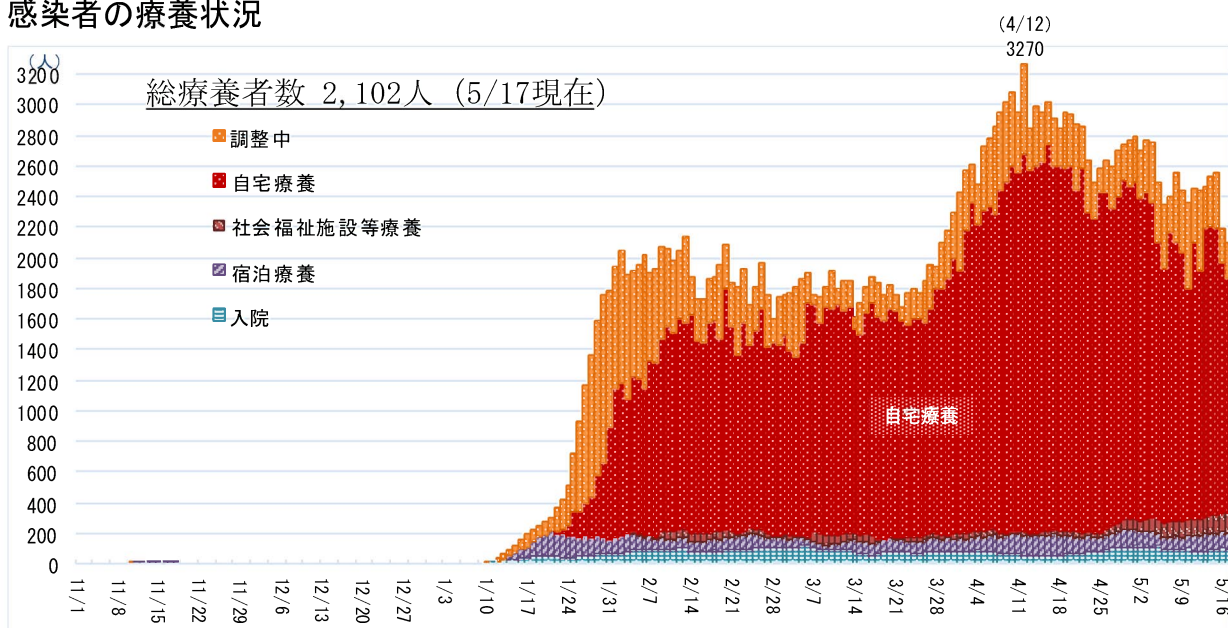
1月以降のクラスター発生件数 (5/17 現在)

分類	教育・ 保育施設	学校	スポーツ 関連	職場	会食	飲食店	医療 機関	福祉施設 (保育園除く)	その他	計
件数	72	92	19	47	19	7	16	68	3	343

2 オミクロン株 BA.2 系統の検出割合



3 感染者の療養状況



療養者数等の状況 (5/17 現在)

累計感染者	入院者	うち重症者	宿泊療養者	社会福祉施設等療養者	自宅療養者	入院・療養調整中	退院者・療養解除者	死亡者
28,631人	95人	0人	105人	127人	1,533人	242人	26,464人	65人

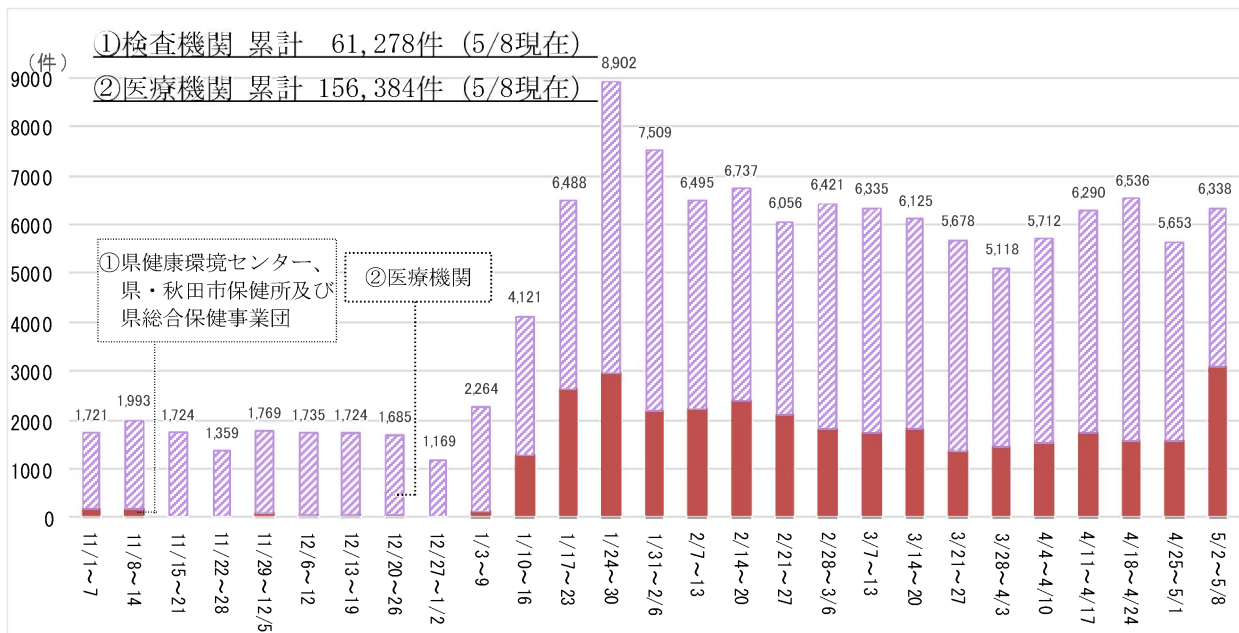
4 病床使用率の推移



※「確保病床」:新型コロナ患者の入院受入用として医療機関からあらかじめ報告を受けて確保している病床

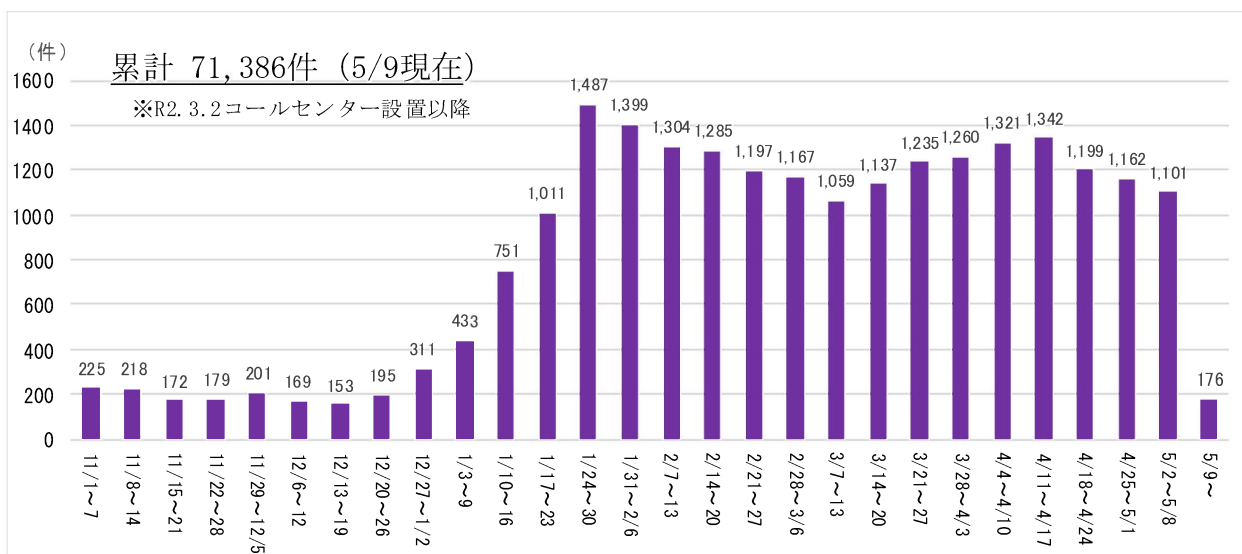
※病床使用率の算定には、新型コロナ患者受入のための確保病床以外の病床の入院者は含まない。

5 PCR等検査件数の推移 (Lamp法、抗原定量、抗原定性キット等を含む)



※医療機関における検査件数は、R2年11月16日以降の検査から集計を開始。件数は、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム(G-MIS)から県が集計した件数と、県医師会が集計した件数(G-MIS 集計分は5/8まで、県医師会集計分は3/27までの件数)、県保健所が集計した数値を合計した数値

6 新型コロナ受診相談センターの相談件数の推移



II 感染症対策

1 全国の状況

○まん延防止等重点措置：令和4年3月21日をもって全国で解除

2 県の対応状況

○対策本部会議の開催

対策本部	主な措置
3/29 (39回)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染警戒レベル3を維持 ・県外往来は感染状況を踏まえて判断することなどを引き続き要請
4/26 (40回)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染警戒レベルの設定を、国のレベル分類を利用したものに見直すとともに、レベル2として運用開始

○県調整本部を保健医療対策部に改組

- ・感染拡大やコロナ禍の長期化を受けて、患者管理、ワクチン総合調整など、新型コロナウイルス感染症対策に当たる体制を整備（4/25～）

○感染警戒レベルの見直し

- ・医療提供体制の逼迫状況をより重視した国のレベル分類を準用（4/26～）

Ⅲ 医療提供体制等

1 検査・医療提供体制

（1）感染拡大への対応

○自宅療養の開始

- ・感染の急拡大により、宿泊療養居室の使用率が4割程度に到達することが見込まれた時点で自宅療養を開始（1/21～）
- ・医師会等関係団体の協力を得て、自宅療養を可能とする体制を整備
協力施設：診療所 200 施設、薬局 362 施設、訪問看護ステーション7 施設（5/17 現在）
- ・療養中の生活に係る経済的負担の軽減を図るため、1人当たり3万円の給付金を支給

○保健所体制の確保

- ・感染が急拡大した保健所へ保健師等を応援派遣し、保健所の体制を確保（応援派遣職員）

保健師：県保健師、在宅保健師、市町保健師（大館市、男鹿市、大仙市、仙北市、美郷町、横手市、湯沢市、羽後町）による疫学調査等

大学教員：日赤看護大学教員による疫学調査

地域振興局職員：検査キット配付業務、疫学調査補助 等

（派遣先保健所）

能代 1/12～2/10, 4/29～、由利本荘 1/15～3/31, 4/27～、横手 1/23～、大館 1/24～、湯沢 2/5～2/20、4/5～4/24、大仙 2/9～、秋田中央 2/11～

○濃厚接触者の待機期間短縮

- ・厚生労働省通知に基づき、濃厚接触者の待機期間と無症状陽性者の療養期間をそれぞれ10日間から7日間に短縮（1/28～）

○宿泊療養施設の確保

- ・5施設（415室）を運用

○即応病床の確保

- ・2月2日から病床確保フェーズを引き上げ
フェーズ5（244床）→フェーズ6（289床）

○無症状者へのPCR等検査無料化事業

- ・感染拡大傾向時の無料検査の実施期間を6月末まで延長
- ・飲食・イベント・旅行・帰省等のための無料検査を6月末まで実施

○経口治療薬の活用体制

- ・ラゲブリオ（モルヌピラビル）登録施設の調整

登録施設：医療機関 219 施設、薬局 306 施設（5/16 現在）

○患者受入先病床等の調整

- ・保健医療対策部で全県一元的に入院・宿泊療養先、自宅療養を調整

(2) 検査体制

- PCR等検査可能件数：最大時2,645件/日（有症状者・濃厚接触者等）
県健康環境センター、秋田市保健所、県総合保健事業団、秋田大学、医療機関
※診療・検査医療機関、高齢者・障害者施設で使用する抗原定性検査キットも含めた
検査可能件数は、最大時8,494件/日
- 無症状者へのPCR等検査無料化事業
 - ・感染拡大傾向時における感染不安を感じる県民への無料検査（1/5～6/30）
検査場所：81か所（5/16現在）※民間検査機関・薬局等
検査実績：66,074件（12/24～5/8）
 - ・飲食・イベント・旅行・帰省等のための無料検査（12/24～6/30）
- 民間PCR検査センターの設置状況
 - ・(株)木下グループが運営する、無症状者を対象にしたPCR検査センターについて、県内7市が場所の提供等を支援するなどして8カ所に設置（12/24～検査無料化事業を実施中）
開設日：秋田市8/2、大館市10/26、大仙市11/30、由利本荘市12/28、
男鹿市1/25、能代市2/8、鹿角市2/16、秋田空港内2/28
- ゴールデンウィーク期間中における臨時の無料検査場の設置
 - ・設置場所：秋田拠点センターALVE
 - ・実施期間：令和4年4月28日（木）～5月8日（日）
 - ・検査実績：915件
- 全国大会参加者等へのPCR検査支援
 - ・国民体育大会参加選手等感染検査支援事業
内容：東北総合体育大会及び国民体育大会に参加する選手団等の大会出場に係るPCR検査の実施
実績：東北総合体育大会（開催地：山形県、主会期：R3.8.20～R3.8.22）
（19競技370人にPCR検査を実施）
結果判明数 370人 全て陰性
鹿角冬季国体（開催地：鹿角市、会期：R4.2.17～R4.2.20）
（約2,000件のPCR検査を実施）
※国民体育大会（本大会）については中止により実績なし

(3) 外来医療体制

- 診療・検査医療機関：291か所
※発熱患者等の診療・検査に対応する地域の身近な医療機関を県で指定
- 地域外来・検査センター：2か所
※大館市、北秋田市に設置

(4) 入院医療体制

- 患者受入のための病床数：289床（19病院）

地域別	県北	県央	県南	合計
最大確保想定病床数 （フェーズ6）	53床	170床	66床	289床
現在の確保病床数 （2/2～フェーズ6）				

重症度別	重症	中等症Ⅱ	中等症Ⅰ・軽症	合計
最大確保想定病床数	24床	128床	137床	289床

重症：ICU管理が必要又は人工呼吸器等装着 中等症Ⅱ：酸素投与が必要な状態(呼吸不全あり)
 中等症Ⅰ：息切れ、肺炎所見あり(呼吸不全なし) 軽症：呼吸器症状なし

○軽症者等受入のための宿泊療養施設：415室（5施設）

地域別	県北	県央	県南	合計
宿泊療養居室数 (収容人員)	20室 (30人)	304室 (387人)	91室 (101人)	415室 (518人)

2 ワクチン接種状況等

(1) 県内接種状況（首相官邸HP：5月17日公表時点）

	1回目	2回目	3回目
総接種回数	849,045 (841,981)	835,485 (826,989)	620,616 (508,535)
全人口の接種率 (971,288人)	87.4% (86.7%)	86.0% (85.1%)	63.9% (52.4%)

※ 首相官邸ウェブサイトの都道府県別公表値（5月16日までの接種回数）

1回目・2回目は5～11歳への接種回数を含む。

※ 全人口は、令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口による。

※ () 内は4月26日県政協議会資料掲載の数値（4月22日公表時点）

【参考】県内の年代別接種率（首相官邸HP：5月16日公表時点）

	12～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
1回目	87.9%	87.8%	84.4%	88.7%	91.6%	91.2%	94.7%
2回目	87.0%	87.3%	84.0%	88.4%	91.4%	91.1%	94.5%
3回目	21.3%	41.7%	43.4%	53.5%	71.4%	79.2%	88.6%

※ 首相官邸ウェブサイトの都道府県別公表値（5月15日までの接種回数）及び令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口による。

(2) 若年層への接種

- 5～11歳への1・2回目接種
 - ・4月24日までに25市町村が接種開始
- 12～17歳への3回目接種
 - ・ファイザー社ワクチンを使用し4月中旬以降順次接種開始
- 大学等单位での3回目接種
 - ・県内5大学・3短期大学が職域接種で実施
 - ・大学・企業等からの相談を受ける窓口を医務薬事課に設置

(3) 4回目接種

- 3回目接種から5か月以上経過した次の者を対象に6月以降順次開始予定
- ・60歳以上の者
- ・18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する者その他重症化リスクが高いと医師が認める者

IV 経済対策等

1 事業者の相談体制

(1) 県及び商工団体等への相談実績

- 県（雇用対策本部）： 308 件（4/30 現在）
 - 商工団体等： 104,909 件（4/30 現在） 合計 105,217 件
- ※日本政策金融公庫、商工中金を除く

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	累計
R1											38	1,881	1,919	
R2	4,431	9,650	10,521	7,823	5,015	5,019	4,096	4,072	5,674	2,628	3,405	6,221	68,555	70,474
R3	1,253	2,335	1,825	1,688	1,840	1,697	2,431	2,596	1,705	2,999	4,740	6,224	31,333	101,807
R4	3,410													105,217

(2) 資金繰り支援

ア 令和3年度実績

- 売上高が減少している中小企業に対する経営安定資金の無利子・無保証料貸付
実施期間 令和4年1月1日～令和4年3月31日まで（保証承諾ベース）
 - ・新型コロナウイルス感染症対策枠（保証承諾件数：2,351件、金額505.7億円）

イ 令和4年度

- 売上高が減少している中小企業に対する経営安定資金の条件が有利な制度を実施
（新型コロナウイルス感染症対策枠、ウィズ・アフターコロナ枠）
- 無利子・無担保による制度融資（農林漁業セーフティネット資金等）の周知

2 県民生活に関する相談

- 各地域振興局における県民相談窓口の設置
相談件数：793件（令和2年3月2日～令和4年5月6日）
- 福祉事務所、社会福祉協議会における相談対応、生活福祉資金の貸付
緊急小口資金の決定件数：2,542件、394,400千円（R2.3/25～R4.5/7）
総合支援資金の決定件数：1,053件、547,050千円（R2.3/25～R4.5/7）

3 消費喚起・拡大等

(1) 「旅して応援！」あきた春割事業（あきた春割キャンペーン）

- 旅行商品や宿泊代金に対する割引
県内在住者を対象とした県内を目的地とする旅行商品や宿泊代金について、1人1泊（日帰りは1回）当たり5,000円を上限に割引する。
 - ・対象期間：令和4年3月1日～5月31日（予定）
 - ※令和4年4月29日～5月8日（GW期間）は対象外とする。
 - ・対象者：県内及び北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県在住者
 - ・割引額：代金の1/2（上限5,000円）
 - ・人泊数：240,000人泊（予定）
 - ・実績：391,689千円（99,848人泊）※5月12日付け速報値
- 地域限定クーポン券の発行
上記の割引に加え、旅行期間中に使用できる地域限定クーポン券を1人1泊（日帰りは1回）当たり2,000円を上限に配付する。

- ・対象期間：令和4年3月1日～5月31日（予定）
 ※令和4年4月29日～5月8日（GW期間）は対象外とする。
- ・対象施設：県内の観光関連施設（道の駅、土産店、観光体験施設 等）
- ・発券枚数：480,000枚〔1,000円／枚〕（予定）
- ・実績：168,699千円（168,699枚）※5月12日付け速報値
- 利用条件
 令和4年4月1日（金）以降の予約分については、ワクチンを3回接種したこと、
 または、PCR検査や抗原定性検査等の結果が陰性であることの証明が必要となる。
 ただし、秋田県内在住者に限りワクチンを2回目接種から14日以上経過したこと
 の証明による利用も可能とする。

4 事業者等への支援

（1）宿泊施設感染防止対策等支援事業の実施

県内宿泊事業者が感染防止対策等として実施する物品購入や施設改修等に必要な経費を助成する。

- 感染防止対策のための物品購入等への支援
 - ・補助率 2／3、補助上限額 200万円
 - ※ 秋田県新型コロナ飲食店認証の取得に向けて必要な物品を購入する場合は補助率4／5
 - 【申請受付】 令和3年5月28日～令和4年2月28日まで
 - 【交付決定】 174施設
- 感染防止対策等のための施設改修等への支援
 - ・補助率：1／2、補助上限額 500万円
 - ※ 施設改修に併せて、経営改善計画を策定・実施する場合は、補助率 2／3、補助上限額 1,000万円
 - 【申請受付】 令和3年6月2日～令和3年11月19日まで
 - 【交付決定】 59施設

（2）県内飲食店の応援事業の実施

- 県内の飲食店等を支援するためのプレミアム飲食券の発行
 - 【販売期間】 紙飲食券：令和4年4月15日～令和4年12月15日
 電子飲食券：令和4年4月25日～令和4年12月15日
 - 【利用期間】 販売開始日～令和4年12月31日
 - 【販売価格】 1枚当たり800円（1,000円分、プレミアム助成率20%）
 - 【発行枚数】 合計：7,500,000枚（予定）
 （内訳） 紙：4,000,000枚
 電子：3,500,000枚
 - 【販売枚数】 合計：1,407,700枚（5/17現在）
 （内訳） 紙：871,745枚
 電子：535,955枚
 - 【利用可能店舗数】 2,233店（5/17現在）
- 感染防止対策を講ずる飲食店の認証制度
 - 【申請受付】 令和3年5月28日から開始（令和4年12月28日まで）
 - 【認証件数】 941施設（5/13現在）

- 商店街組織や飲食店で構成される組合等が実施する消費促進及び感染予防の取組への助成
 - ・令和3年度
 - 【交付件数】 42件（53団体）、226,883千円
 - ・令和4年度
 - 【募集期間】 令和4年4月1日～令和4年12月15日（ただし、予算がなくなり次第終了。）
 - 【交付決定】 6件、40,000千円（5/13現在）
- 飲食店が感染予防のために実施する設備導入等にかかる経費の助成
 - ・令和3年度（通常枠）
 - 【交付件数】 58件、13,310千円
 - ・令和3年度（新型コロナ対策認証枠）
 - 【交付件数】 673件、102,650千円
 - ・令和4年度
 - 【申請件数】 26件（5/13現在）
- 売上が大きく減少した飲食店及び飲食店関連事業者に対し、事業継続を支援するため、支援金を給付
 - 【対象者】
 - 次の要件をすべて満たす中小企業者等
 - （1）県内に本店又は主たる事業所を有する中小企業者等（個人事業主含む）
 - （2）飲食店又は、飲食店と継続的に直接取引のある事業者（飲食店関連事業者）
 - （3）直近決算期の売上が前年度又は、前々年度と比較して20%以上減少していること。
 - 【支援金額】 1事業者当たり売上金額3千万円につき30万円（上限300万円）
 - 【申請受付】 令和3年10月27日～令和4年1月31日まで
 - 【支給実績】 2,458件、1,054,500千円

（3）県内中小企業者の安定的な事業継続への支援

- 中小企業の従業員等が県外出張後に行うPCR等検査に要した費用に対する助成
 - 【助成件数】 50件（103検査分）、946千円

（4）離職者への支援

ア 令和3年度

○労働移動奨励金

他の業種から対象業種（建設関連、運輸関連）に就職した個人に対し奨励金を支給

【給付対象等】

令和2年2月14日以降にコロナ禍で離職し、指定の職業訓練を修了のうえ、令和3年4月1日以降、他の業種から対象業種の正社員等として3か月以上勤務した個人に奨励金30万円を支給

対象業種：建設業、土木建築サービス業、道路貨物運送業

【交付実績】 28件、8,400千円

イ 令和4年度

○職業転換奨励金

対象業種に介護事業及びデジタル技術関連を加え、引き続き就職した個人に対し奨励金を支給

【給付対象等】

令和2年2月14日以降にコロナ禍で離職し、指定の職業訓練を修了のうえ、①の業種については令和3年4月1日以降、②の業種等については令和4年4月1日以降に、他の業種から対象業種の正社員等として3か月以上勤務した個人に奨励金30万円を支給

対象業種：① 建設業、土木建築サービス業、道路貨物運送業
② 老人福祉・介護事業、デジタル技術関連業務

【交付実績】 3件、900千円（5/13現在）

(5) 起業者への支援

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う環境変化が著しい中であっても新規事業にチャレンジする起業家の起業に要する経費の一部を助成

・令和3年度

【採択件数】 22件、25,883千円

V ゴールデンウィーク期間中の人流等

1 ゴールデンウィーク期間の主な行事の人出

○角館の桜まつり（4/20～5/5、縮小して実施）

61万人 [R3比 26.8万人増]

○大曲の花火 春の章（4/29～30、通常開催）

8,300人 [R3開催なし]

※会場内への来場者

○秋田犬保存会第145回本部展（5/3、通常開催）

1,000～1,500人ほど [R3と同程度]

※概算

2 ゴールデンウィーク期間中の交通機関等利用状況

〔JR・航空機の利用状況〕 ※秋田新幹線はH30年を、航空路線はR元年100%とした比較（%）

	秋田 新幹線 4/28 ～5/8	航空路線 4/29～5/8													
		秋田												大館能代	計
		羽田			大阪			札幌			名古屋	計	羽田		
		ANA	JAL	計	ANA	JAL	計	ANA	JAL	計	ANA		ANA		
R3年度	22.0	26.0	18.3	22.9	27.6	19.6	23.2	26.7	24.4	25.6	42.1	24.4	23.7	24.3	
R4年度	52.0	78.6	72.0	76.0	72.6	61.9	66.7	63.2	66.0	64.6	85.5	73.4	93.0	75.6	

(注) 秋田新幹線、JAL、ANAの数値は各社プレス資料による（「航空計」は県で算出）

(注) 大館能代空港については、R4年度は3往復運航となっている

3 ゴールデンウィーク期間中の県境部の道路利用状況

各県境部道路の交通量（4月29日～5月5日）

年度	秋田自動車道 (北上西IC～湯田IC)	一般国道7号 (矢立)	一般国道7号 (象潟)	一般国道13号 (院内)	一般国道46号 (仙岩)
R3	約4,500台/12h	約4,200台/12h	約5,000台/12h	約2,200台/12h	約3,700台/12h
R4	約9,200台/12h	約6,000台/12h	約9,100台/12h	約6,200台/12h	約4,700台/12h

※交通量は12h(7:00～19:00)のデータ【速報値】